

RI 承認No. 013856
国際ロータリー第 2550 地区
益子ロータリークラブ



益子コタジ会報

No. 2155 例会

2025. 2. 12 (水) Vol. 29



月間テーマ《平和構築と紛争予防月間》

2024～25 年度 佐藤広志会長テーマ
『懇親・親睦』

RI 会長 ステファニーA. アーチック
第 2550 地区ガバナー 市田 登

司会

小幡正之 SAA

ロータリーソング

♪それこそロータリー♪

会長あいさつ

佐藤広志会長

ロータリーの友 2 月号で「スター・トレック」ヒカル・スルナーが歩む道～差別、闘い、そして未来への夢～と題して映画俳優で日系アメリカ人のジョージ・武井さんの話が掲載されていました。今月のロータリー月間は「平和構築と紛争月間」です。世界各地では、未だに争いや対立が続いており、平和への実現は私達にとって重要な課題の一つです。ロータリーは「平和をつくる人になろう」という理念のもと、長年にわたり紛争の予防と解決に取り組んできました。

紛争の起きる原因としては、宗教上の争い・土地や資源の奪い合い・権力者の利害関係・文化や民族性の差異・政治的信条の差異、差別など複数の原因が複雑に絡み合っただけで紛争が起こるという事です。パレスチナ問題・ウクライナ侵攻・アフガニスタン紛争・シリア内戦・リビア内戦・イエメン内戦、世界のいたるところで起こっています。日本国内では、武力紛争は起きていませんが、色んな課題はあります。例えば

- 1、領土問題～北方領土・竹島・尖閣諸島
- 2、沖縄基地問題～米軍基地移設問題の意見対立
- 3、憲法改正議論・移民、外国人労働者受け入れに関する意見対立・エネルギー政策など。

4、都市部と地方の格差拡大・少子高齢化による地方の衰退など。

これらは主に政治的・社会的な対立であり、軍事的な「紛争」には至っておりませんが、今後の状況によっては、対立が更に深まる可能性もあります。

ロータリーの「平和構築と紛争予防月間」は、国際的な問題だけではなく、私達身の回りの社会課題についても考えてみたいものです。

ニコニコ BOX

佐藤 浩委員長

小幡君 県神社庁の役員改選に伴い、この度、栃木県神社庁理事、神社庁芳賀支部長に就任となります。来週は、東京で関東地区の連合総会の為、例会日欠席となります。

平野君 米沢、雪を堪能してきました。

大島君 皆様お久しぶりです。本日、おじいちゃんになります。

関口君 檜山さん卓話有難うございます。今朝は、湯西川が-18℃だったそうです。寒い！

佐藤浩君 本日の卓話楽しみにしています。

高根澤君 檜山会員卓話楽しみです。宜しくお願い致します。

河原君 檜山会員、卓話ありがとう。

直井睦君 檜山さん、卓話有難うございます。

西口君 檜山さんの卓話、業界の現状を聞いてみたいです。楽しみにしております。

檜山君 卓話ガンバリます。

会 長 : 佐藤 広志
副 会 長 : 高根澤良一
幹 事 : 豊田 有子
会報委員長 : 直井 睦
会 報 委 員 : 牟田 紀一
: 日下田 正

事務局 : 栃木県芳賀郡益子町益子 1593
TEL・FAX 0285-72-7474
E-mail: masikorc@gaea.ocn.ne.jp
例会場 : 益子町上大羽 2268 益子カントリー倶楽部 2 階
TEL 0285-72-1234 FAX 0285-72-1231
例会日 : 水曜日 12:30～13:30

<檜山会員、卓話ありがとうございました>

伊藤君 酒井君 佐藤広志君 高橋さん
塚本君 富田君 豊田さん 広木君
松崎君 宮下君 牟田君 柳君

卓 話

檜山和行会員

「死語」になった言葉

昭和の時代に使っていた言葉で、令和の現在、殆ど使われなくなった言葉を取り上げてみました

- ・ちょめちょめ（女性と会う・恋人同士仲良く）
- ・キャピキャピ（元気で明るい）
- ・ぎゃふん（ぐうの音もでない）
- ・グロッキー（ふらふらの状態）
- ・社会のまど（S23年NHKラジオ番組があった）
- ・ちゃんちゃら可笑しい（とても滑稽な事）
- ・まぶい（美しい女性）
- ・まぶだち（仲のいい友達）
- ・ルンペン（ボロ・古着・収入が定まらない人）
- ・ロートル（中国語で老頭子供）
- ・ポケベル
- ・チョベリグ（最高）
- ・チョベリマ（最悪）
- ・パチこく（嘘をつく）
- ・アベック（恋人同士）
- ・かまとと（知らないふりをする）
- ・パンタロン
- ・ネグリジェ
- ・ズロース
- ・はんどん（土曜日）
- ・ピチピチ（若い・元気）
- ・スチューワーデス（CA）
- ・ごぜんさま（0時を過ぎて帰ること）
- ・しゃかりき（一つのことに夢中になる）
- ・にゃんにゃんする
- ・はなきん（はなの金曜日）
- ・ミーハー（流行に左右されやすい）
- ・チャクメロ（携帯の待ちうけ）
- ・ぶりっこ（あざとい）
- ・月賦（分割払い・クレジット）
- ・ズック（スニーカー）



第2地域

ロータリー公共イメージコーディネーター

神野 正博（七尾RC）



講演する尾身茂氏

国際的な公共保健イニシアチブとして、ポリオ根絶に向けて史上初、かつ最大規模の取り組みを繰り広げているR I。ステファニー・アーチック会長が、「ポリオに関しては、問題は『根絶されるのか』ではなく、『いつ根絶されるか』ということです」と述べているように、

私たちは、「あと少し」の根絶に向かって、歩みを止めるわけにはいきません。その思いを込めたセッションとなりました。

セッション冒頭、水野功R I理事は、2023年の研究会に引き続いてお越しいただいた医学博士・尾身茂氏にロータリー・ポリオ根絶大使（Rotary Polio Eradication Ambassador）の委嘱状を授与。今後も、ロータリーへ精神的支援をいただけるようお願いしました。

その後、尾身氏は「ポリオ根絶への道～これまで、これから」と題して講演。これまでの困難を克服してきた強いリーダーシップに関するお話や、課題解決のための道筋の立て方、「ここで手を緩めてはならない理由」を熱く語っていただきました。

続いて、各地区のガバナー、ポリオプラス委員長などが活動事例発表を行いました（右上参照）。いずれも、ロータリーファミリーや地域住民に対して、ポリオ根絶の重要性と意義というインパクトを与える事例でした。

「世界ポリオデー・フォトコンテスト2024」は、応募93作品から事前選考を行い、8作品を受賞作として選出。会期中にR I会長賞、TRF管理委員長賞、R I理事賞、TRF管理委員賞を選び、それぞれ役員が直接受賞者へ賞状を送りました。※受賞作は次ページ参照